

# 社会について知ろう

## ～マレーシアの環境問題と日本のかかわり～



Malaysia

栃木県

坂寄 綾

作新学院高等学校

- 担当教科：数学
- 実践教科：総合的な学習の時間
- 時間数：2時間
- 対象：高校2年生
- 対象人数：34名

### (1) 授業実践のテーマ・目的

- ・広い範囲から情報を収集・選択し、主体的に活用できる。
- ・社会（世界）の出来事に目を向け、自分の生活が社会（世界）とつながっていることに気づく。
- ・様々な問題について、なぜ起こったのか、その原因や背景について考える。
- ・得た知識をもとに、自ら進んで行動する能力を伸ばす。

### (2) 授業の構成

時限	テーマ、ねらい	方法・内容	使用教材
1	【“環境” “国際” って?】 自分にとって「環境」や「国際」が どんなものなのか考え表現する。	・それぞれのもっている言葉のイメージを付箋に 書く。 ・グループ内、クラス全員で話し合う。	・付箋 ・マジック
2	【マレーシアから環境について考えよう!】 植物油脂（パーム油）とプランテー ションについて学び、「環境にやさし い」とはどういうものか考える。	・身近な物がマレーシアに関わっていることに気付く。 ・ものランゲージ。 ・ロールプレイで感情移入する。 ・パーム油が自然破壊や動物の生命にも関わって いることに気づく。	・マレーシアの物品 ・食品・洗剤 ・ロールプレイ資料 ・付箋 ・パワーポイント
3	【みんなが幸せに生きるために】 地球人として「私が」「みんなが」で できること・すべきことは何か考える。	・植物油脂を通じ、多くの人に関わっていること やいろいろな思いがあることを知る。 ・“すべきこと”をみんなで話し合う。 ・「環境」「国際」について考える。	・付箋

### (3) 授業の詳細

#### 1 時限目：【“環境” “国際” って?】

普段聞いたり、使ったりしている“環境” “国際”  
の言葉について、再度生徒たちに認識させた。また、  
生徒たちがどのように思っているのか、教師側の確  
認のために考えさせた。

#### Q. 「私たちが考える“環境”とは」

酸性雨／水質汚染／公害／オゾン層破壊／  
地球温暖化／人口増加による森林伐採

#### A. 「私たちが考える“国際”とは」

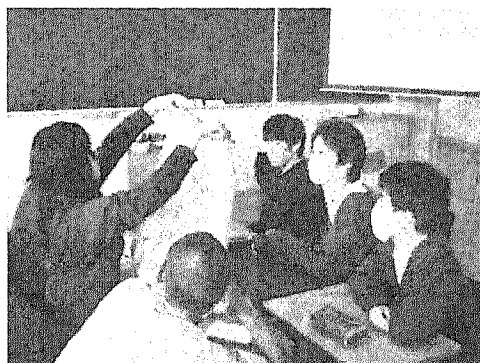
言語／貧困／宗教／核／紛争／南北問題／  
交換留学／差別

#### 2 時限目：

#### 【マレーシアから環境について考えよう!】

- ①国旗クイズや、民族衣装・トドン（頭にかぶる布）  
などを用意して「ものランゲージ」を用いること  
を導入とした。ここでは、実際に“マレーシア”

に触れて興味を持ち、異文化や距離感を感じさせることを目的としている。



【民族衣装バジュクロンに触れる】



【イスラム教に関するトドンに触れる】

②身近にもマレーシアと関係しているものがある。ものランゲージの手法を用いて、生徒たちは植物油脂（パーム油）⇒プランテーション⇒マレーシア⇒日本（私たち）の関係に気付く。

また、環境に優しいといわれている植物油脂だが、本当に優しいのか？という質問を投げかけた。考える力を養うことを目的とした。



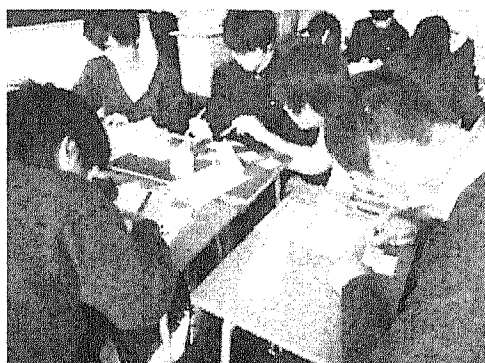
【ものランゲージ】身近な物と植物油脂

③グループでロールプレイをした。自分の感情・思いとは別に感情移入し役割になりきって会議を進め、その後、自分の意見として農地開発に「賛成

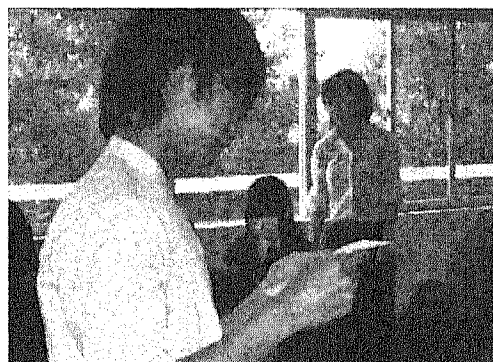
／反対」の考えを付箋に書き、グループ内で話し合う（自分の考え）。最後にどんな意見になったのかクラス全体で話し合った（意見の共有）。



ロールプレイ



自分の意見のまとめ『賛成 or 反対』



発表

農地開発について生徒たちの考え

○賛成派

- ・お金が手に入るから。
- ・農業の規模を広げて、マレーシア経済をさらに発展させたいから。
- ・村が貧しく、学校にも満足に行けず、生活もままならないなら開発も仕方が無い。

×反対派

- ・国を発展させるのはいいことだけど、守っていかなくちゃいけないことがある。
- ・多くの熱帯林が伐採されて、生物も絶滅してしまうのは環境を無視している。

- ④マレーシアで作られたパーム油が私たちの手元に届くまでの全体像を確認した。同時に、その延長線上に自然破壊や動物の生命に私たちが直接関わっていることに気づくことを目的としている。
- ⑤多くの人に関わっていること、たくさんの思いやそれぞれの意見があることに気づかせた。
- ⑥下の2つの問いをグループ内で話し合った後、宿題とした。

自分の意見や家族で話し合ったことなどを【振り返りシート】に記入してくるよう伝えた。

- Q 1. みんなが幸せになるために、“私だったら” “僕だったら” 何をしますか？（目的：主観的な考え）
- Q 2. どのようにすればみんなが幸せに豊かに生活することが出来ると思いますか？（目的：客観的な考え）

### 振り返りシート

NO. \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

- ① 今日の授業を受けて、どんなことを考えましたか？
- ② 今日の授業を受けて、(改めて) あなたにとって以下の言葉とは何ですか？
- 社会とは ー
- 環境とは ー
- 国際とは ー

### 3 時限目：【みんなが幸せに生きるために】

振り返りシートをもとに、付箋に書き、グループ内で意見を発表した。

その後、クラス全員で意見を共有した。

- Q. みんなが幸せになるために、“私だったら” “僕だったら” 何をしますか？

- ・少し妥協する。
- ・先を考える。理想だけではない、实体经济を含めた対策を考える。
- ・みんなのことを思いやった行動をする。
- ・今ある自分に感謝し、物を大切にすること。
- ・もっと環境について調べたりして、そういう面でも知識を増やす。

- Q. どのようにすればみんなが幸せに豊かに生活する事が出来ると思いますか？

- ・一人ひとりが譲り合う・妥協する／お互いに譲歩する。
- ・みんなの理解を深め、現状を把握する。そこから本当に何が必要かを考える。
- ・戦争をなくす・格差をなくす。

最後に、生徒たちに2つ質問をした。

振り返りシートを利用し、最初に提示した「環境」「国際」の意識の変化を確認した。

- Q. 今日の授業を受けてどんなことを感じましたか？

- ・「環境にいいといわれていること≠環境にいい」自分で調べないといけないと思った。
- ・他の国ではどんな問題が起こっているのだろうと思った。
- ・環境やそれをとりまく社会に自分がどう関わっているか考えた。
- ・“幸せ”という言葉の重みを感じた。

- Q. 今日の授業を受けて、(改めて) あなたにとって以下の言葉とはなんですか？

#### 【社会とは】

- ・一人一人が考えをもち、みんなで作っていくもの。
- ・全員が協力して作っていくもの。
- ・他人とのつながり。
- ・皆が関わって動いているもの／皆の力で成り立っているもの。

#### 【環境とは】

- ・皆で守るべきもの、変えていくもの。
- ・地球が長生きするための最も重要なもの。
- ・一つの国ごとの問題ではなく、世界で一丸となって取り組むべきこと。
- ・代々受け継がれて守っていくもの。
- ・人の道具ではないと思う。
- ・守りながら共存しなければならないもの。

#### 【国際とは】

- ・完全な理解ができないということ、理解した上で解決しなくてはいけない。
- ・これからの時代を生きるのに理解を深めるべきもの。
- ・色々な国が話し合い、考えていくもの。
- ・難しい。
- ・国と国とで助け合うもの。
- ・人と人とのつながり。
- ・それぞれを理解すること。
- ・国や地域じゃなくて、人類全体として物事を考えること。
- ・各国が協力して豊かな社会にしていくもの。

### 〔4〕授業実践を終えて

○成果

- ・身近にあるものから、地球規模の課題を分析することができた。
- ・相手の立場を尊重しながら多面的・総合的に考察すると同時に、地球的視野に立って、主体的に考えることができた。
- ・国際社会を視野に入れた、人間としてのあり方、生き方について考えることができた。
- ・広い範囲から情報を収集・選択、主体的に活用する機会となった。

○課題

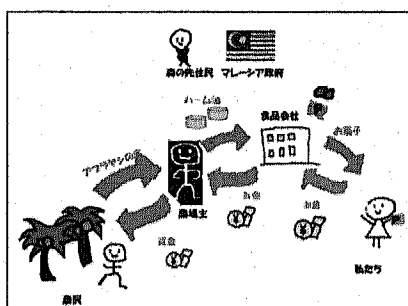
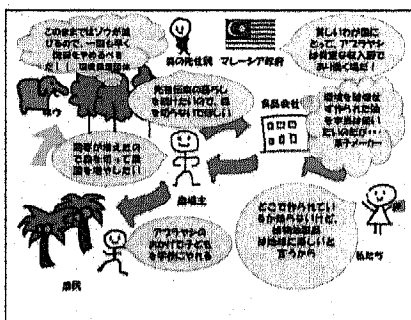
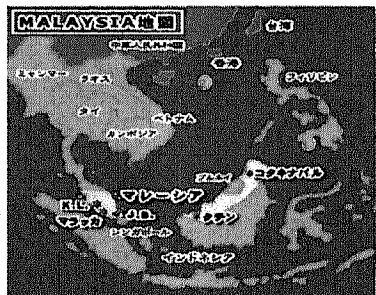
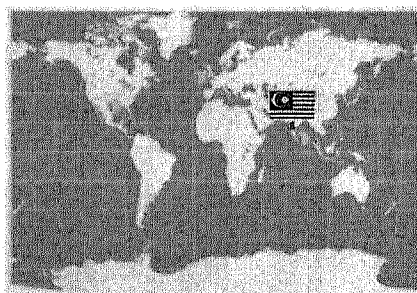
- ・ロールプレイではたくさん時間をとり、よりそれぞれの意見を出しあうことができればよかった。
- ・意見の共有をした後、再度話し合いの時間を設け、問題解決策として考察する機会を作ればよかった。

### 〔5〕参考文献(引用文献・参考資料)

- 『パーム油のはなし～「地球にやさしい」ってなんだろう?』 開発教育協会 2002
- 『NHK地球データマップ 世界の“今”から“未来”を考える』 日本放送出版協会 2008

### 〔6〕使用教材

【資料】



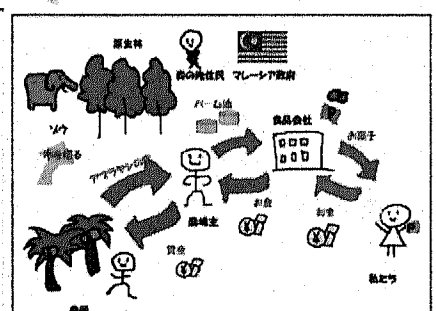
私たちが、  
スナック菓子を食べると

ソウ

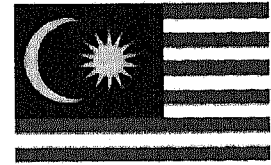
が絶滅する

「持続可能な社会」  
みんなが幸せに生きるために  
"私だったら" "僕だったら"  
何をしますか？

「持続可能な社会」  
どのようにすれば  
みんなが  
幸せに暮らすことができる  
と思いますか？



# 出会う幸せ 語る喜び



Malaysia

新潟県

丸山 智恵子

新潟市立万代高等学校

- 担当教科：英語
- 実践教科：英語
- 時間数：6時間
- 対象：高校3年生
- 対象人数：24名

## (1) 授業実践のテーマ・目的

- ・人と出会うこと、関わることについて考える
- ・意見の相違を尊重する態度を育てる
- ・自己表現への意欲を喚起する
- ・あらゆる視点から物事を捉える態度を育てる
- ・英語学習の意義について考える

## (2) 授業の構成

時限	テーマ、ねらい	方法・内容	使用教材
1	【幸せになるための2つのこと①】 自分に幸せをもたらしてくれるものは何かに気づく	[個人・ペア活動] 「幸せになるための2つの要素は何か」というテーマで英作文をする ・他の生徒の作文を読み、コメントする	
2	【幸せになるための2つのこと②】 ・他者の意見と自分の気持ちの相違を知る ・臆せず意見を表す	[グループ活動] ・アメリカの短期留学生とともに、「幸せになるための2つの要素」について、絵を用いて英語で説明や質問をする ・「幸せに必要なもの」を順位付けし、理由を話しあう	・ワークシート
3	【幸せに国境はあるか?】 ・幸せの感じ方に国別の相違があるか探る ・「日本」で「同じ教室」で学ぶことについて考える	[個人・グループ活動] ・マレーシアで集めたアンケートを用いてディスカッションを行う ・スライドを観ながら、内容について話しあう ・自分の周囲の人々について英文を作成する	【パワーポイント①】 ・ワークシート
4	【視点を変えてみる】 ・植物を擬人化し、自然に親しむ ・英語学習について考える	[グループ活動] ・スライドを観ながら、植物の形態、生態について興味を深める ・研修同行者の湯元さんに登場してもらおう。実際に触れあえる喜びと、英語学習について考える ・自分のスピーチ原稿を見直す	【パワーポイント②】
5	【スピーチ活動】 ・英語で自己表現する喜びと	[個人・ペア活動] ・各自で設定したテーマをもとに1人3分程度のスピーチを行う	
6	話者を受容する気持ちを育てる	・パートナーの良いところを織り交ぜたスピーチ前の紹介文を披露する	

### (3) 授業の詳細

※3時限目まで、授業者はマレーシアに行ったことを生徒に伝えない。

#### 1時限目にむけて

定期考査として、「あなたの『幸せになるための2つのこと』」をテーマに英作文を出題。

#### 1時限目：【幸せになるための2つのこと①】

①各自作成した英作文を交換し、お互いにコメントしあう（所要時間 40分）

##### <進め方>

##### (Round 1)

・パートナーのワークシートに「質問したいところ」「なるほど!と感じるところ」「心に響いたところ」を日本語で書き込んでいく。

##### (Round 2)

・パートナーの英文の誤りを指摘する。

②自分が書いた英文と再び向き合う。振り返り。  
(所要時間 10分)

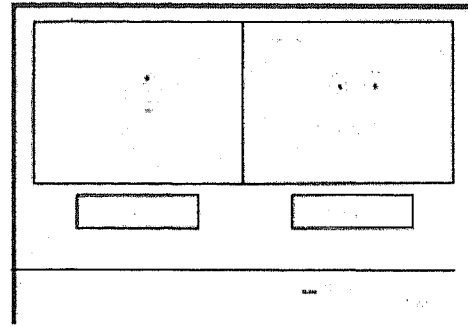
#### 2時限目：【幸せになるための2つのこと②】

①アメリカ ポートランド州から来た短期留学生5名を迎え、日本人生徒5名+留学生1名の6人グループで活動する。

絵を用いて英語で説明 「幸せになるための2つのこと」 (所要時間 30分)

##### <進め方>

1. ワークシートに幸せの要素を表す絵と、その絵を端的に表す語句を英語で描く
2. 1人2分で、ワークシートを示しながら英語で説明する
3. 発表後、質疑応答
4. 振り返り



【アメリカ】

②幸せに必要なもののランキング。(所要時間 10分)

##### <用意するもの>

- ・英単語カード（各グループ1セット）
- ・のり、はさみ、マジック

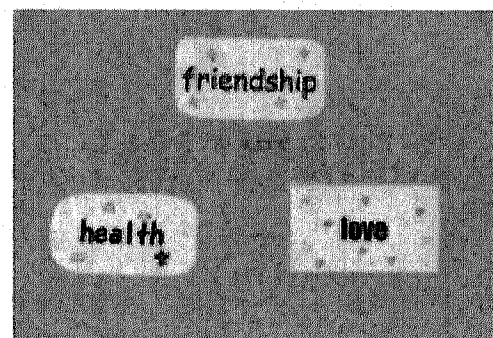
##### <進め方>

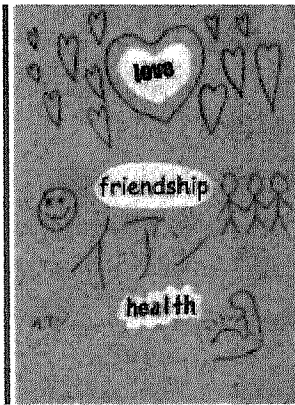
1. 英単語カードを用いて、英語で話し合いながらグループで「幸せになるために重要度が高いもの」の順に並べる
2. 並べたカードを台紙に貼り、グループ代表者が全体へ発表
3. 振り返り

love	confidence
friendship	money
dream	wisdom
health	time
beauty	power

英単語カード（バラバラに切る）

##### <生徒の作品>





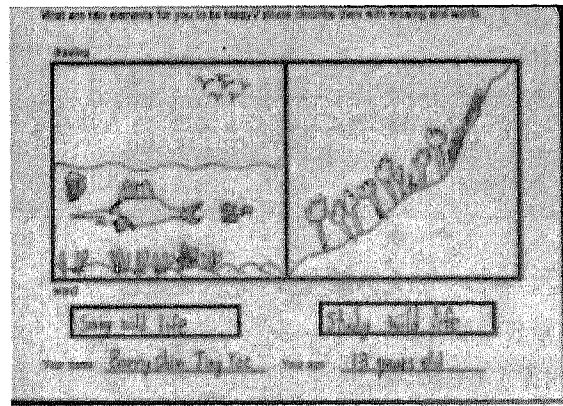
### 3時限目：【幸せに国境はあるか？】

主に4人1組のグループで活動する。

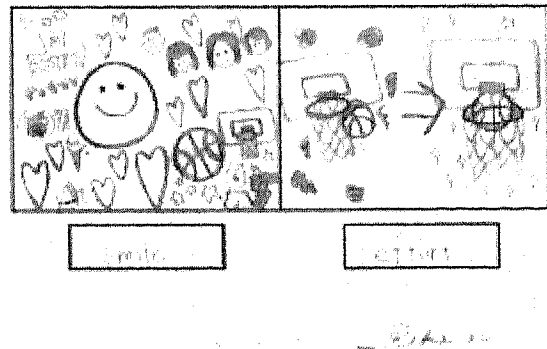
#### ①ある一人の人生を想像する（所要時間 15分）

<進め方> ※マレーシアの国名は出さない

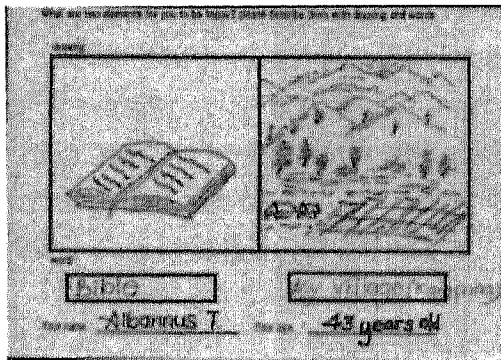
1. マレーシアでとったアンケート  
(2時限目と同じ形式のもの)をコピーして各自に配布
2. 用紙に書かれた絵と語句から書いた人物の性格、人生、出身国を想像する
3. グループでディスカッション
4. 全体で共有



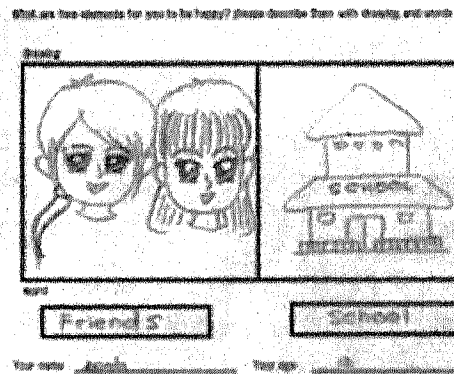
【マレーシア】



【日本】



【マレーシア】



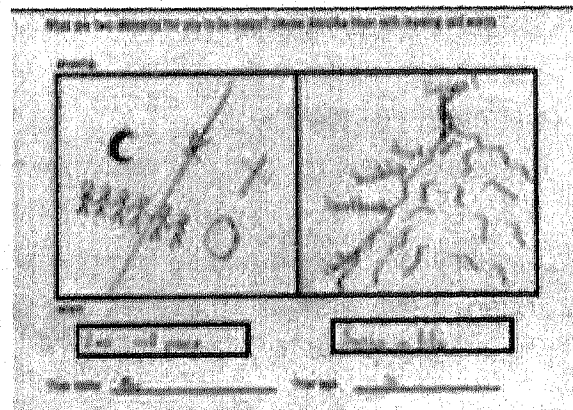
【マレーシア】

#### ②アクティビティ “Where are they from?”

(所要時間 10分)

<進め方>

1. 上記と同様のアンケート(約60枚)を各グループに均等になるように分ける
2. アンケートに書かれている内容を見ながら、出身国を想像する
3. マレーシアで取ったアンケートであることを伝える  
※ここで初めて生徒は国名を知ることになる
4. 自分自身が2時限目に書いたもの、アメリカの生徒との相違点、類似点を見つける



【マレーシア】

**生徒の様子**

出身国を当てることができた生徒はおらず、「幸せの要素」に国境はないことを感じる。  
マレーシアの生徒の絵の上手さを褒めたり、英単語の書き方がアメリカ人の文字に近いなどアンケートを注意深く観察していた。

**③マレーシアの人の暮らし・学校を知る**  
(所要時間 10分)

**<用意するもの>**

- ・マレーシアの生徒のプレゼンテーションの動画
- ・マレーシアで撮影した写真(現地の人、学校の掲示物など)

**<進め方>**

1. 授業風景の動画を見て、気付いたことを話し合う
2. 学校の掲示物の画像を見て、書かれている英文について最も心に響いたものはどれか話し合う
3. 教員による最初の活動で使用したアンケートの回答者の家族、暮らしの紹介。  
(家族や関わる人をとても大切にしている人であることを伝える)

**④英作文 (所要時間 5分)**

**<進め方>**

1. 『私たちは、どの国で、どんな時代に生まれても不思議ではないね。  
でも私たちは日本で、ここで、同じ時間を過ごしています。  
あなたの周りをもう一度見回してみよう』と問いかける。

2. ワークシートを用いて英文を完成させる

※ワークシートには

「People around me are \_\_\_\_\_」

と載せておき、下線部を埋める

《生徒の記述 (下線部のみ)》

very important for me / my life / essential for me / my treasure / special / essential for happiness / different and so friendly / who I can't live without / make me happy / best life-long friends / destiny など

**4時限目：【視点を変えてみる】**

4人1組のグループで活動する

**《第1部 英語学習》**

**①英語力向上のモデル登場 (所要時間 10分)**

教師海外研修参加者の湯本さんに授業に参加していただき、現地で英語力が飛躍的に向上した話、その理由を伝えた。

**生徒の様子**

湯本さんの写真をスライドで見せた後の本人登場で、とても驚いた様子であった。  
実物と触れ合うことは、どんなに美しい写真を見せるよりも生徒の表情を輝かせるように思う。

**②アクティビティ 「みんなをつなげるものは？」**

(所要時間 5分)

マレーシア、中国、日本で撮影した写真をスライドで示し、写真中の人物が皆でコミュニケーションを取りたいとき、繋ぐ役割を果たすものは何かを問う。

**《第2部 植物も暮らす地球》**

**①アクティビティ 「視点を変えてみよう」**

(所要時間 20分)

**<進め方>**

1. スライドの写真(マレーシアの植物)を見ながら、植物の形態が人間の体のどの部分に似ているか問う
2. マングローブの葉の写真を示し、なぜ葉の1枚が黄色くなるのかディスカッション
3. 正解披露(答えを知っていた生徒がいたため生徒による解説)

**生徒の様子**

マングローブの生態を知り、その生きるための知恵に心が動いたようだった。  
上記の1. を行い、植物に人間のイメージを重ねておくことで、3. の場面がより強く印象に残る。

**②振り返り**

3. 4時限の内容をふまえ、5. 6時限に向けてどのように準備すべきか話しあう。

**生徒の声**

- ・前と違う切り口でスピーチをしたかった。
- ・クラスメートが大切だと思う気持ちが強くなった。